

(書式 2)

学会参加報告書

提出日 2017年 8月 7日

学籍番号	170MA08	学系	トレーニング科学
氏名	浦 佑太		
学会等名 (正式名称)	ISSP 14TH WORLD CONGRESS SEVILLA 2017		
開催日程	2017年 7月 10日 ~ 2017年 7月 14日		
開催場所 (国・都市名)	スペイン セビリア		
発表演題名	The skill necessary for a good play of the circumstantial judgment in the soccer		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p>&lt;学会の全体の印象&gt; 世界各国から研究者が集り、2日4、東アジアの国々の研究者も多くみられた。 コーヒングの最中にもホッパセッションが執り行われるなど、非常にフランクな雰囲気であった。</p> <p>&lt;自分の研究と関連した発表とその内容&gt; Takahito Matsuake "Reaction time of Japanese expert football players during decision making" サッカーの状況判断場面を使用した Go/N. の課題におけるサッカー選手の EMG と RT を計測した。その結果、expert 群は sub expert 群と比較し、有意に EMG-RT と RT が短かった。</p> <p>&lt;自身の発表への質問・コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実験条件はタイムリシーを組み合わせれば、データにより差が生じるのではないか。</li><li>・実際のコーヒングの際にこの研究をどう活かせるかが。</li><li>・ホッパセッションには結果も見せてもらった。</li><li>・課題への問いがどこに設定したのか。</li></ul>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。  
提出期限は学会終了後2週間以内とする。  
本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。